

## 国際交流

本校は 1991 年から、アメリカ北西部ワシントン州のシアトル近郊コピントン市にあるケントウッド高校との交流を続けています。ケントウッド高校と本校との出会いは、本校体育教諭（当時）が3週間、ケントウッド高校で柔道の指導を行ったことから始まりました。その後、当時のジョージ・ウィルソン校長から講道館柔道の創始者、嘉納治五郎の書「自他共栄」が本校に寄贈され（現在も柔道場に掲げられています）、更に柔道部OBの招待でウィルソン校長が来校された際に、両校の「交流」が合意されました。以後、相互に学校を訪問する形で交流が進められています。

毎年3月末の8日間程度、2年生5名と付添い教員1名が同校を訪問します。平日はケントウッド生とともに授業を受け、学校生活を体験し、「日本語」の授業では日本文化のプレゼンを行うなど、日本語学習のお手伝いもしています。また、夕刻や週末には、それぞれのホストファミリーの一員として異文化での家庭生活を味わうほか、市長への公式訪問や他の3つの州立高校との交流も実施し、観光旅行では味わえない貴重な体験をしています。

一方、7月には、ケントウッド生が2週間日本を訪問し、本校生の家庭にホームステイしながら、「北野高校生」としての1週間を体験しています（残りの1週間は連携校の阿武野高校で過ごします）。

また、本校は平成31年度（令和元年度）から令和4年度まで文部科学省指定のWWL事業の拠点校になり、その事業の一環としての海外研修（3月に行われるオーストラリア研修と台湾研修）を計画してきました。様々なバックグラウンドを持つ海外の人と交流するとともに、課題研究に関連する知見を得ることも目標にしています。

WWLの指定期間は終了となりましたが、上記の海外研修・交流事業は今後も継続していきます。ますます国際化しつつある世界の中で、たくさんの北野高校の生徒が国際交流の機会を持ち、広い視野と寛容な心を持ってほしいと考えております。

注：令和2～3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、海外研修は中止となりました。

今後も同感染症の動向や社会情勢を踏まえながら、実施の可否を判断し、オンライン交流での代替等を検討します。

